



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月24日

上場会社名 櫻島埠頭株式会社 上場取引所 東
コード番号 9353 URL <http://www.sakurajima-futo.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）谷本 祐介
問合せ先責任者（役職名）取締役（経理部担当）（氏名）佐藤 禎広（TEL）(06)-6461-5331
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,224	11.8	211	104.9	291	96.3	236	110.4
2025年3月期中間期	1,988	△2.3	103	△21.6	148	△11.4	112	13.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 719百万円（—％） 2025年3月期中間期 △17百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	155.67	—
2025年3月期中間期	74.21	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	11,911	7,636	64.1
2025年3月期	11,098	6,970	62.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 7,636百万円 2025年3月期 6,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	△3.2	230	13.3	380	26.8	260	11.6	170.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	1,540,000株	2025年3月期	1,540,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	18,205株	2025年3月期	23,251株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	1,518,896株	2025年3月期中間期	1,513,981株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)のわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により、景気の緩やかな回復基調が続いている一方で、継続的な物価上昇やエネルギーコストの高止まり、米国の通商政策への懸念等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような情勢のもと、当社グループは、第4次中期経営計画(2024年度～2026年度)「産業構造の変化に対応する次世代ビジネスへのStep2」の下、次世代に残せる事業構造への転換を図りサステナビリティ経営を推進することで、当社グループを取り巻く全てのステークホルダーに貢献することを最重要課題と位置付け、経営環境の大きな変化に対応するため、更なる企業価値の向上に努めております。

産業構造の変化への対応として、必要な投資の検討・実施、また、既存設備への効率的なメンテナンスを実施していくことで、中長期的視点に立った事業ポートフォリオの継続的改善を行うとともに、新規ビジネスを開拓・育成することや地場産業との関係を深め、わが社の強みを生かした付加価値のある仕事を追求し、長期に亘り安定した収益を維持・拡大できる事業基盤の強化に努めております。

ばら貨物については、安定したサービスを継続的にご提供するため、設備の更新工事を進めるとともに、お客様へのより一層の付加価値の高い物流サービスをご提供できるよう、汎用性の高いばら貨物倉庫の新設に向け準備を進めております。液体貨物に関しても、メンテナンスを適時・的確に行い事業の安定性を高めるとともに、タンクの更新・新設を含めた設備投資を検討しております。また、倉庫事業に関しても、パートナー様と連携を強化し、収益改善に向け様々な取り組みを検討しております。

上記の事業活動を踏まえ、当中間連結会計期間の売上高は、2,224百万円となり、前年同期に比べ235百万円、11.8%の増収となりました。

売上原価は、売上の増加に伴い荷役関係諸払費が増加したことや、設備メンテナンスを積極的に行ったことにより修繕費が増加したことなどから、1,720百万円となり、前年同期に比べ120百万円、7.5%の増加となりました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費の増加などにより、292百万円となり、前年同期に比べ6百万円、2.2%の増加となりました。

この結果、当中間連結会計期間の営業利益は211百万円となり、前年同期に比べ108百万円、104.9%の増益となりました。また、経常利益につきましては、受取配当金を収受したことなどから、291百万円となり、前年同期に比べ142百万円、96.3%の増益となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、賃料増額請求訴訟の和解成立に伴い受取和解金を特別利益に計上したことなどから、236百万円となり、前年同期に比べ124百万円、110.4%の増益となりました。

セグメント別の営業の概況は、次のとおりです。

(ばら貨物セグメント)

ばら貨物については、保管業務において、各倉庫が期初より安定して稼働したことに加え、荷役業務において、主に石炭やイルメナイトの入着が上半期に集中したことによる取扱数量の増加などにより、ばら貨物セグメントの売上高は1,240百万円となり、前年同期に比べ246百万円、24.8%の増収となりました。ばら貨物セグメントの営業利益は72百万円となりました(前年同期は85百万円の営業損失)。

(液体貨物セグメント)

液体貨物については、タンクの稼働率が期初より堅調に推移したものの、前期に収受したタンク運営に係る特別作業料が無くなったことなどから、液体貨物セグメントの売上高は702百万円となり、前年同期に比べ13百万円、1.8%の減収となりました。液体貨物セグメントの営業利益は239百万円となり、前年同期より38百万円、13.8%の減益となりました。

(物流倉庫セグメント)

物流倉庫については、各倉庫が期初より安定して稼働したことなどにより、物流倉庫セグメントの売上高は267百万円となり、前年同期に比べ、1百万円、0.5%の増収となりました。物流倉庫セグメントの営業利益は106百万円となり、前年同期より11百万円、10.1%の減益となりました。

(その他のセグメント)

その他のセグメントの売上高については、売電事業により、前年同期並みの12百万円となりました。その他のセグメントの営業利益は前年同期並みの6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は11,911百万円となり、前連結会計年度末に比べて812百万円増加しました。これは借地料や修繕費の支払などにより現金及び預金が減少したものの、借地料に係る前払費用(流動資産その他)が増加したことや、保有する株式の時価の上昇により投資有価証券が増加したことなどによるものです。

負債合計につきましては、保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて146百万円増加し、4,274百万円となりました。

純資産合計につきましては、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べて666百万円増加し、7,636百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益を計上したことなどにより87百万円の資金増加となりました。投資活動によるキャッシュ・フローでは有形固定資産の取得による支出などにより231百万円の資金減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローでは長期借入金の返済による支出などにより23百万円の資金減少となりました。これらの結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は774百万円となり、前連結会計年度末に比べて167百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、87百万円の資金増加(前年同期は48百万円の資金減少)となりました。これは前払費用の増加額239百万円などがあったものの、税金等調整前中間純利益を339百万円、減価償却費を195百万円計上したことなどによるものです。なお、前払費用については、当社敷地に係る借地料の下半期6ヶ月分(10～3月分)を9月に支払っております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出を213百万円行ったことなどから231百万円の資金減少(前年同期は535百万円の資金減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、短期借入による収入が200百万円あったものの、長期借入金の返済による支出を144百万円行ったことや、配当金の支払額が60百万円あったことなどから23百万円の資金減少(前年同期は143百万円の資金増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2025年5月14日に公表した通期連結業績予想を修正しております。詳細は、2025年10月20日に開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	941,131	774,044
売掛金	401,779	461,641
リース投資資産	644,234	600,201
貯蔵品	51,432	55,969
その他	79,411	313,285
貸倒引当金	△4,894	△4,782
流動資産合計	2,113,094	2,200,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,443,230	2,388,195
その他	1,088,518	1,128,236
有形固定資産合計	3,531,748	3,516,432
無形固定資産	291,991	291,626
投資その他の資産		
投資有価証券	4,718,877	5,423,418
その他	442,542	479,333
投資その他の資産合計	5,161,419	5,902,752
固定資産合計	8,985,160	9,710,810
資産合計	11,098,255	11,911,172
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	133,222	141,794
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	294,236	298,736
未払法人税等	42,647	90,137
賞与引当金	46,131	48,319
業績連動報酬引当金	1,200	—
その他	563,689	393,752
流動負債合計	1,081,125	1,172,740
固定負債		
長期借入金	1,330,884	1,181,516
繰延税金負債	1,156,470	1,386,659
環境対策引当金	51,055	48,569
退職給付に係る負債	2,930	2,809
資産除去債務	28,350	28,350
その他	476,824	453,662
固定負債合計	3,046,515	3,101,567
負債合計	4,127,641	4,274,308

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	770,000	770,000
資本剰余金	369,948	370,533
利益剰余金	3,224,527	3,400,297
自己株式	△34,234	△27,160
株主資本合計	4,330,241	4,513,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,640,372	3,123,194
その他の包括利益累計額合計	2,640,372	3,123,194
純資産合計	6,970,614	7,636,864
負債純資産合計	11,098,255	11,911,172

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	1,988,789	2,224,136
売上原価	1,599,687	1,720,234
売上総利益	389,102	503,902
販売費及び一般管理費	285,791	292,177
営業利益	103,311	211,724
営業外収益		
受取利息	195	248
受取配当金	50,016	82,268
その他	9,509	10,839
営業外収益合計	59,721	93,357
営業外費用		
支払利息	12,228	12,092
遊休設備費	1,791	1,792
その他	678	10
営業外費用合計	14,698	13,895
経常利益	148,333	291,186
特別利益		
受取和解金	—	57,200
固定資産売却益	2,699	—
特別利益合計	2,699	57,200
特別損失		
固定資産除却損	2,277	8,700
特別損失合計	2,277	8,700
税金等調整前中間純利益	148,755	339,686
法人税、住民税及び事業税	39,668	94,775
法人税等調整額	△3,268	8,469
法人税等合計	36,399	103,244
中間純利益	112,356	236,441
親会社株主に帰属する中間純利益	112,356	236,441

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	112,356	236,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129,696	482,821
その他の包括利益合計	△129,696	482,821
中間包括利益	△17,340	719,263
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△17,340	719,263

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	148,755	339,686
減価償却費	203,598	195,153
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△303	△112
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,425	2,188
業績連動報酬引当金の増減額(△は減少)	△15,400	△1,200
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	87	△120
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	9,826	△28,711
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△7,738	△2,485
受取利息及び受取配当金	△50,211	△82,517
支払利息	12,228	12,092
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,699	—
有形固定資産除却損	2,277	8,700
受取和解金	—	△57,200
売上債権の増減額(△は増加)	△49,617	△59,862
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,871	△4,537
仕入債務の増減額(△は減少)	36,250	8,572
未払又は未収消費税等の増減額	△24,370	△28,439
前払費用の増減額(△は増加)	△245,251	△239,473
リース投資資産の増減額(△は増加)	42,112	44,032
その他	△75,284	△99,974
小計	△13,184	5,790
利息及び配当金の受取額	50,211	82,517
利息の支払額	△11,490	△10,732
法人税等の支払額	△73,893	△47,384
和解金の受取額	—	57,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	△48,356	87,391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△529,032	△213,929
有形固定資産の売却による収入	2,700	—
有形固定資産の除却による支出	△1,959	△8,700
その他	△7,340	△8,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△535,632	△231,274
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△400,000	—
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△94,368	△144,868
リース債務の返済による支出	△8,435	△7,525
自己株式の増減額(△は増加)	9,134	7,658
配当金の支払額	△44,982	△60,151
その他	△18,248	△18,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	143,099	△23,193

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	△10
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△440,934	△167,086
現金及び現金同等物の期首残高	850,472	941,131
現金及び現金同等物の中間期末残高	409,538	774,044

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ばら貨物	液体貨物	物流倉庫	計				
売上高								
外部顧客への売上高	993,994	715,833	266,432	1,976,261	12,528	1,988,789	—	1,988,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	993,994	715,833	266,432	1,976,261	12,528	1,988,789	—	1,988,789
セグメント利益又は損失 (△)	△85,783	277,889	117,904	310,010	6,078	316,089	△212,777	103,311

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△212,777千円は、各報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ばら貨物	液体貨物	物流倉庫	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,240,914	702,629	267,646	2,211,190	12,946	2,224,136	—	2,224,136
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,240,914	702,629	267,646	2,211,190	12,946	2,224,136	—	2,224,136
セグメント利益	72,098	239,665	106,010	417,773	6,139	423,912	△212,187	211,724

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。
- 2 セグメント利益の調整額△212,187千円は、各報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。